



2022.2月号

どうして過去問を解いた方がいいの？

◎過去問演習を行う目的を以下のようにまとめました。
目的を理解して、意味のある過去問演習を行いましょう。

【1】志望校の入試問題の出題形式を知る

各教科の解答時間や問題の量・構成、出題傾向などを確認します。試験時間に対して問題量が多いのか少ないのか、見直しの時間は何分取れるのかなども考えてみましょう。

【2】問題を解く順番やペースをつかむ

数学であれば「小問集合から解く」、国語は「古典から先に解いて、時間をかけて小説を読む」など、問題の構成や自分にとっての解きやすさをふまえて、最後の問題に解答するための時間配分を知ることが大切です。



【3】自分の「得点源」や課題を見つける

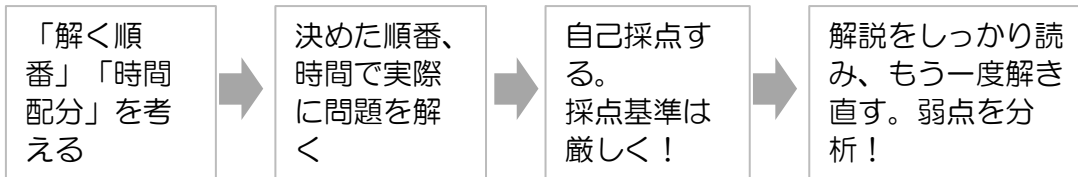
入試問題レベルで、得点を伸ばせるところはどこなのかを知ることができます。入試本番までの残りの時間を何に費やせば目標とする点数に届きそうか、入試対策の「仕上げ」としてすべきことを整理しましょう。

過去問を解く際は、以下のことをノートなどにまとめておきましょう。
得点・配点分かる過去問であれば、得点を必ず出しましょう。
配点表記のないものは、正答数/問題数で得点率を出しておきましょう。
かかった時間・タイマーなどを使って演習するのもおすすめです。



過去問演習のポイント

併願校まで合わせて複数の学校を受験する場合は、過去問演習はどの学校のものを何年分解くか、よく考えて取り組みましょう。演習の手順は以下を参考にしてください。



2月スケジュール

↓過去の情熱通信はこちらから！

- 2月 1日 (火) 定例生徒カウンセリング開始
- 2月 3日 (木) 学力テスト標準実施日
- 2月13日 (日) 高専高校入試日
- 2月15日 (火) 私立高校入試A日程 (~16日)
- 2月16日 (水) 定例学習報告会開始
- 2月18日 (金) 私立高校入試B日程 (~19日)



微差が大差を生む

わずかな努力と行動の微差を日々積み上げていくことが、大きな差、大差を生む。微差は大差。

上記は明光義塾に関連する方のTwitterへの投稿です。この投稿を見て「可否別難関大学受験者の1日の平均学習時間」のデータを思い出しました。データは以下のようになります。

高1→現役合格 2時間 7分・不合格 1時間49分
高2→現役合格 2時間49分・不合格 2時間41分
高3→現役合格 6時間 9分・不合格 5時間49分
合計→現役合格 4044時間・不合格 3760時間
1日の平均の学習時間の差は、高1が18分、高2が8分、高3が20分、合計が284時間。1日で見ると微差ですが、3年間の合計で見ると大差。結果も大差。微差の積み重ねを意識して行動していこうと改めて思いました。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

おもしろ記念日

お正月気分も落ち着き、春の足音も聞こえ始める2月。節分や初午といった伝統的な早春の行事が行われ、ひな祭りや観梅のイベントなども各地で開催される月です。また2月は、東北や北海道等の北日本では寒冷地ならではの雪や氷をテーマにした華やかなイベントも数多く開催される月。冬から春へと移り変わる風情ある行事が日本中で目白押しなんです。

代表的な行事やイベントをご紹介します。節分(2月3日)、立春(2月4日)、さっぽろ雪まつり(2月上旬)、針供養(2月8日)、初午(2月最初の午の日)、バレンタインデー(2月14日) また2月の記念日として、プロ野球の日(2月5日)、建国記念の日(2月11日)、お菓子の日(2月15日)、猫の日(2月22日)など面白い記念日があります。釧路春採SC教室 安田 光則 Tel 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

一度置く勇氣

テストを受ける上で、避けられないことは時間との戦いだと思います。あと10分あれば……という問題が少なからずあるのではないのでしょうか？

どれほど演習を重ねても、より解きやすい問題というのは必ず出てきます。それゆえに、最初に問題をサッと見て、解きやすい問題から解き始め、解きにくい問題は一度置いておくと時間に余裕ができる可能性があります。今悩んでいる問題よりも他の問題の方が、自分との相性がいいかもしれません。解きやすい問題を終わらせてから戻れば閃きが得られるかもしれません。

私の友人は高校入試の際、最初の問題でつまずいてこだわりすぎた結果、問題用紙を白紙で提出してしまいました。「次ならどうだろう？」と思えるかどうか、意外と大事かもしれませんよ。

当別教室 平山 由香利 Tel 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

日本銀行券

2年後の2024年上半期には新紙幣が流通する予定です。前回の新札発行は2004年、その前は1984年ですので、おおよそ20年周期で新札を発行していることになります。2004年版の発行は、旧札の偽札が作られる事案が発生したため対抗措置として急遽発行されたのに対して、今回は2019年に新札発行の発表がされ、5年の準備期間を経ての流通開始となります。お札は常にその時代の技術の粋を集めて作られます。これは主に偽造対策が目的ですが、新札の偽造対策もちろん最高レベルで、細かな細工は芸術的ですからあるようです。まだ2年先ですが新札が手元に来た時には是非じっくり観察したいものです。現行のお札もそうですが、技術の結晶であるお札は、日本の技術力の高さを体感できる、ごく身近にある題材とも言えます。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

新しいコミュニケーションの在り方

今の子どもたちの多くは、テレビよりもSNSに触れる時間が増えています。テレビ全盛の時代には、「皆が見ているもの」がありましたが、今の子どもたちの多くは飽くまで「自分の見たい情報」を見ているようです。いわゆる共通の話題や文化が積み重なり形作られるものを常識と呼ぶならば、今後常識というものは存在しなくなるのかもしれませんが、そういった場合に難しくなるのがコミュニケーションです。新たな出会いがあったとき、彼らは自分のルーツや好きなものについて、相手に、論理的に説明する必要があります。共有している話題や常識が少ない場合、相互理解のためには論理こそが頼みの綱になります。これは僕の言い過ぎかもしれませんが、世界は少しずつそういった方向に進んでいるように思います。その意味において、論理力と説明力の重要性が増しているように感じられます。

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

24時間耐久ゲーム・デー

大晦日。子どもたちに「今日はこれから、24時間ずっとゲームをやってよろしい！」と言い渡しました。ご多分に漏れず、我が家においてもゲームをめぐっては問題があり、一番のそれは自己管理だと考えています。ゲーム時間が長引きなかなか線引きができず、結果として日常生活に悪影響を及ぼしてしまう。親として何よりも注意すべきはその部分だと思うわけです。さて、その24時間耐久ゲーム・デーですが、耐久ということで、本当に24時間寝ないでやらせるべきかもしれませんがね！「寝ちゃだめだ！がんばれ！もっとがんばれ！しっかりしろ！」と寝ようとしたり寝かさないという(笑)。で、「しばらくゲームはいいや…」と言わせる(笑)。でもしかし敵はなかなか手強くて、なかなかそうは言わないものですね！スマホにゲームにYouTube。本当に「誘惑」が多い時代です。

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏